

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	教育委員会生涯学習文化課	■担当係	芸術文化係
■評価事業名称	芸術文化振興事務		
■評価事業コード	400300 - 065	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり	
	■基本施策	04 芸術文化の振興・国際交流の推進	
	■施策	01 芸術文化活動の推進	
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	芸術文化事業をより充実させ、芸術文化の振興を図る。文学碑案内板等修繕、芸術文化振興に係る各種助成情報等の提供及び取りまとめ		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	芸術文化振興事務	一般		<ul style="list-style-type: none"> ・文学碑説明板 点検48か所、修繕2件 ・文学碑及び案内説明板土地等占用許可標識設置 2件 ・岩手県文化振興基金事業報告書(進達)H23 1件 H24 1件 ・地域発・文化芸術創造イニシアチブ事業 H24年度交付申請1件、実績報告1件 H25年度事業計画提出1件 ・コミュニティ助成事業への申請1件 実績報告1件 ・小中学校への文化庁等芸術鑑賞事業実施希望照会、連絡調整及び取りまとめ ・各種助成募集の周知

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	203	303	185	201	
人件費	3,084	2,738	445	1,776	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	3,287	3,041	630	1,977	

4. 評価指標等の状況

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	文学碑点検回数	1回	1回	1回	1回	年度当初から何回かに分けて、全箇所について1回は点検を行った。
02	文学碑および案内板修繕箇所数	1基	4基	3基	2基	予算の範囲内で文学碑及び案内板の破損部分を修繕

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

各種助成事業や参加募集について、関係団体との連絡をはかり対応した。文学碑の説明版については、詩歌文学館の学芸員の協力を受けながら修繕を行った。

問題点・課題等

文学碑や説明版の維持に、その修繕に経費がかかっている。また、外部団体や他の自治体からの事業周知依頼について、他課が担当した方が効果的(効率的)と思われるものがある。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

補足説明